

平成 18 年度環境技術実証モデル事業検討会
VOC 処理技術ワーキンググループ会合（第 1 回）
議事要旨

1. 日時：平成 18 年 9 月 15 日（金）10:00 ～ 12:00
2. 場所：砂防会館別館 3 階 霧島
3. 議題
 - （1）平成 17 年度第 4 回WG 議事概要について
 - （2）中小事業所向けVOC 処理技術分野実証試験要領（第 2 次案）について
 - （3）中小事業所向けVOC 処理技術分野実証機関の公募・選定について
 - （4）拡大ワーキンググループの開催について
 - （5）今後の検討スケジュールについて（予定）
 - （6）その他
4. 出席検討員：坂本和彦（座長に選出）、岩崎好陽、小淵存、土井潤一、中杉修身
保坂幸尚、本田城二
欠席検討員：なし
5. 配付資料
 - 資料 1 平成 17 年度 VOC 処理技術ワーキンググループ会合（第 4 回）議事概要
 - 資料 2 中小事業所向けVOC 処理技術分野実証試験要領（第 2 次案）
 - 資料 3 中小事業所向けVOC 処理技術分野実証試験要領（第 1 次案）からの変更点
 - 資料 4 中小事業所向けVOC 処理技術分野実証機関選定の考え方について
 - 資料 5 中小事業所向けVOC 処理技術分野実証機関申請書類について
 - 資料 6 拡大ワーキンググループの開催について
 - 資料 7 今後の検討スケジュールについて（予定）
 - 参考資料 1 平成 18 年度環境技術実証モデル事業実施要領
 - 参考資料 2 平成 18 年度VOC 処理技術ワーキンググループ設置要綱
 - 参考資料 3 汎用的VOC 処理技術分野 実証試験要領作成の方向性
 - 参考資料 4 「エコ・プロダクツ 2006」への出展について

6. 議事

会議は公開で行われた。

- （1）平成 17 年度第 4 回WG 議事概要について
資料 1 を配付し、意見等については事務局が個別に受け付け対応することとなった。
- （2）中小事業所向けVOC 処理技術分野実証試験要領（第 2 次案）について

事務局より資料 2、資料 3 に基づき、中小事業所向け VOC 処理技術実証試験要領（第 2 次案）について説明。検討員からの指摘事項及び対応については、以下の通り。

- ・ 「回収方式」の用語の定義について見直すこととなった。
- ・ 全量に近い処理ばかりではなく、部分的な量を対象とする VOC 処理技術を実証対象とすることの是非について議論され、現在の案どおり、実証対象として含むべきであることが確認された。
- ・ 入口ダクトで吸い込まれずに、大気中に放出されてしまう VOC 量についても、ユーザーに向けた補足説明（実証試験実施場所における溶剤投入量など）として記載することとされた。
- ・ VOC を含んだウエスの遠心分離機など、VOC 処理技術以外にも、中小事業者に有効な VOC 排出抑制に資する技術もあるとの意見があったが、本実証試験要領では、今回は流入ガスの VOC 処理技術を実証対象とすることを確認した。
- ・ 回収された溶剤が再利用可能かどうかは、ユーザーにとって重要な情報であるため、より具体的に記載するべきとの意見があった。
- ・ 実証試験実施場所の提案を自治体で行うことは難しいとの指摘があったが、実証試験場所は、実証機関により実証公募時の申請要件にすることも可能なことから、試験要領の記載事項ではなく、実証機関の判断事項とされた。
- ・ 実証対象機器の立ち上げおよび運転・維持管理業務を実証機関に負わせることは適当ではないとの指摘があり、実質的な立ち上げおよび運転・維持管理業務は環境技術開発者の責任とするよう修正することとなった。また、この責任分担について試験要領に明示すべきとの指摘があった。
- ・ 報告書概要版の環境負荷実証項目に関する記載欄で、臭気に関する欄を追加すべきとの意見が出され、了承された。
- ・ 機器・原理によっては、活性炭の処理方法、メンテナンス体制などについても検証・記述が必要との指摘があった。ユーザーにとって重要と考えられる事項は、メーカーからの参考情報として記載するのみでは、不十分との意見があった。

今後、検討員の意見および「ご意見募集」で寄せられた意見を踏まえつつ、事務局で実証試験要領の最終案をとりまとめていくことを事務局より説明し、了承された。

(3) 中小事業所向け VOC 処理技術分野実証機関の公募・選定について

事務局より、資料 4、資料 5 に基づき、中小事業所向け VOC 処理技術分野実証機関公募・選定の考え方について説明。

(4) 拡大ワーキンググループの開催について

事務局より、資料 6 に基づき、拡大ワーキンググループの開催について説明。

(5) 今後の検討スケジュールについて(予定)

事務局より、資料7に基づき説明。

第2回会合を10月中下旬に予定しており、中小事業所向けVOC処理技術分野実証機関の選定について非公開で議論する予定である旨、事務局より説明を行った。

(6) その他

(特になし)

(文責：環境省水・大気環境局環境管理技術室 速報のため事後修正の可能性あり)